

NEW

商品入荷のご案内

2025/10/10 入荷

POKAPOKA SOCKS -TSUNAGU-



size 21~25 cm

冬だけでなく、通年の冷え性対策にぴったり！一年中使える優れたもの。

スリッパ代わりにちょうどいい形。



ぽかぽかそックス TSUNAGU ショート ¥580+税 LOT:6 CTN:168



ツキノワグマ
[2003975-01]
JAN: 748179



イリオモテヤマネコ
[2003975-02]
JAN: 748186



ウミガラス
[2003975-03]
JAN: 748193



ラッコ
[2003975-04]
JAN: 748209



シマフクロウ
[2003975-05]
JAN: 748216



ヤンバルクイナ
[2003975-06]
JAN: 748223



冷えやすい足首をすっぽり覆います。



ぽかぽかそックス TSUNAGU アンクル ¥750+税 LOT:3 CTN:96



ツキノワグマ
[2003976-01] JAN: 748230



イリオモテヤマネコ
[2003976-02] JAN: 748247



ウミガラス
[2003976-03] JAN: 748254



ラッコ
[2003976-04] JAN: 748261



シマフクロウ
[2003976-05] JAN: 748278



ヤンバルクイナ
[2003976-06] JAN: 748285



ぽかぽか

体験サンプル

フック仕器
ございます

*1フック
6足掛かります



立てても使える
スタンド付き



裏起毛を大々的にアピールするサンプルです。
商品の隣にぶら下げれば、注目度アップ！
絶対にさわりなくなっちゃうはず。

素材: ポリエステル95% ポリウレタン:5%
滑り止め: PVC

※JANコード上7桁 4988441共通



丸和貿易株式会社
MARUWA TRADING CO.,LTD.



-TSUNAGU- つなぐ

つなぐ力が、明日を守る。

未来を守るため、今を知る。
絶滅の危機に瀕する日本の生き物たちを、
あなたの身近な存在に。

「TSUNAGU」に込められているのは、人間もまた地球上に生きる一つの種であることを認識し、すべての命を未来へとつなげていく責任があるという思い。絶滅の危機に瀕する日本の生き物たちを、もっと身近な存在として感じられるように、日々の生活で使用するアイテムにデザインを落とし込みました。
「TSUNAGU」では、売上金の一部を公益社団法人日本動物園水族館協会『野生動物保護募金』に寄付させていただきます。

※国内飼育施設は2025年4月時点の公益社団法人日本動物園水族館協会ウェブサイト掲載情報を参照しています。

ツキノワグマ

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

本州と四国の山地に生息するクマで、特徴的な「月の輪模様」が名前の由来です。警戒心が強く人間を避けますが、食料不足で近年では人里に現れることもあり、保護と対策の両立が急務です。

体長 120~145cm 体重 60~100kg 前後で
走るスピードは速く、短時間なら
時速 50km 程度で走ることができます。



【国内飼育施設】弥生こいの広場、大宮公園、浜松動物園、和歌山城公園動物園、大牟田市動物園、大森山動物園、福岡市動物園、八木山動物公園、宇都宮動物園、群馬サファリパーク、かみね動物園、上野動物園、多摩動物公園、野毛山動物園、よこはま動物園、富山ファミリーパーク、須賀市動物園、茶臼山動物園、豊橋総合動物園、東山動物園、京都動物園、王子動物園、池田動物園、とくし動物園、高知アニマルランド、安佐動物公園、福岡市動物園、九十九島動物園、熊本市動物園、平川動物公園、沖縄こどもの国

イリオモテヤマネコ

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

沖縄県の西表島にのみ生息するブチ柄のネコで、体長 40~50cm と小柄な肉食動物です。外来種や土地開発、密猟などにより年々減少し、現在の個体数は数十~百匹程度と推定されています。

世界の中でも、沖縄県八重山諸島の西表島にのみ生息。面積がわずか 300 平方キロの島で 20 万年以上も絶滅せずに種を繋いできました。



【国内飼育施設】なし

ウミガラス

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

カラスの仲間ではなく、ウミスズメ科に属する鳥です。

北海道北西部に位置する日本海の天売島にのみ繁殖する渡り鳥で、特異な鳴き声から「オロロン鳥」とも呼ばれています。

陸上で直立歩行をするなど、ペンギンに似た姿をしていますがペンギンと違い空を飛ぶことができます。



【国内飼育施設】アクアマリンふくしま、葛西臨海水族園、新潟市水族館マリニピア日本海

ラッコ

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

北太平洋に広く分布しますが、かつては毛皮目的の乱獲で姿を消していました。1990 年代からは北海道や東北地方で野生のラッコの目撃例が増加しており、個体数は回復傾向にあると見られます。

撥水性に優れた体毛は約 8 億本 (1 平方 cm に 10 万本) 生えています。地球上で最も毛深い動物と言われており、人間の髪の毛の 8,000 倍です。



【国内飼育施設】鳥羽水族館

シマフクロウ

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

北海道に生息する大型のフクロウです。河川の開発や水質の悪化でエサの魚が減ったことや、森林伐採によって繁殖に必要な大きな樹洞のある木が失われた影響で個体数が減少しました。

シマフクロウは、十勝の人々から「エカシ (おじいさん) が座っているように見える」と表現されるほど大きなフクロウです。



【国内飼育施設】円山動物園、旭山動物園、釧路市動物園、大森山動物園

ヤンバルクイナ

絶滅危惧ⅠA類
(環境省第4次レッドリスト)

ヤンバルクイナは沖縄のヤンバルの森にのみ生息する絶滅危惧種で、飛べないため天敵に脆弱です。

外来種や開発の影響で個体数が減少し、保護活動が急務となっています。

空を飛べない代わりに走るのが得意な鳥です。頭がよく、エサのカタツムリの中身を食べるため石に叩きつけ、殻を割る姿も見られます。



【国内飼育施設】なし